

ダンスカンパニー コンドルズ (CONDORS)

2020年10月17日

コンドルズ ニューディール作戦 2020 「ONLY YOU」公演

コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

改定 Version 1.0

令和2年10月09日

ROCKSTAR 有限会社 代表取締役

勝山康晴

第1章 概論

1 はじめに

新型コロナウイルス感染拡大が続くなかで、感染予防、医療活動、生活インフラ継続のために努力されている全ての関係者に最大限の敬意を表すると同時にダンスカンパニー・コンドルズが舞台活動を実施するためのガイドラインをここに設置します。事前準備、公演当日、公演終了までを通じて最大限の感染予防を実施いたしますが、リスクが大きいと判断される場合は、如何なるタイミングにおいても公演を中止する可能性があることをお客様と関係者には理解を頂きたいと思っております。

2 リスク評価コミッティ・本ガイドラインの位置づけ

本ガイドラインは公益社団法人全国公立文化施設協会が令和2年5月25日に改定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの改訂」を参考に策定しました。このガイドラインへのご意見等のご連絡は <http://www.condors.jp/form-con/contact.html> まで頂きますようお願いいたします。

本ガイドラインの実施に関しては下記に運用実施者を設置し、感染に関するリスクを評価するリスク評価コミッティを設置し、運用していきま

す。運用実施者は週に 1 度、準備、運用状況の報告会議（以後、運用ミーティング）をオンラインで実施し録画記録します。所轄保健所等からの指示がある際にはこの録画記録を提出いたします。

又、外部環境の変化、お客様の意見、コミッティの指導等に基づき、当ガイドラインは修正・変更される場合があることをご理解ください。

(A) 運用実施者・(公演主催者) (以降、実施者)

役職	氏名	役割
総責任者	勝山康晴	全体総括
作品責任者	近藤良平	リハーサル、公演作品内容における、対策
運用責任者	古賀剛	全体実施プラン策定、実行
観客担当	小澤 関子	顧客安全確保
舞台担当	筒井昭善	出演者・関係者劇場内感染対策

(B) リスク評価コミッティ (以降、評価コミッティ)

役職	氏名	所属	役割
委員長	勝山康晴	ロックスター 代表取締役	議事・進行
外部評価者	佐藤 昭裕	KARADA 内科クリニック 院長	専門評価者
実施報告者	古賀剛	ロックスター スーパーバイザー	内部施策報告

3用語

劇場、音楽堂等の文化施設を設置する自治体等（以下「設置者」という。）

及び当該施設を管理する事業者（以下「施設管理者」という。）

当該施設で公演又は催事等（以下「公演」という。）を主催する事業者（以下「公演主催者」という。）

4 開催・キャンセルの決定

(A) 最上位決定 施設管理者による決定

施設設置者もしくは管理者が公演を許可するかどうかの判断にあたっては、その施設が所在する都道府県の知事からの要請等を踏まえた上で判断されるため、公演が許可されなかった場合に関しては、公演主催者の判断に関わらず、公演が実施できない場合があります。

(B) 公演主催者による決定

公演主催者が公演を実施するかどうかの判断にあたっては、実施者が適切な感染予防対策を準備期間、前日、当日準備まで含め実施したことを踏まえた上で決定します。

(C) リスク評価コミッティによる推奨

実施者による報告が適切に行われていない場合、若しくは、感染予防の運用が適切に行われていない場合、コミッティは実施者に対して、「公演中止の推奨」が可能になります。公演主催者はこの推奨に対して改善策を提出して、コミッティが「公演中止の推奨」を取り下ない限り、公演は実施されません。

第2章 感染予防運用基本方針

1 基本方針

特に、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件（いわゆる「三つの密」）のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられ、こうした環境の発生を極力防止するなど、すべての主体が相互に感染回避に徹底して取り組むことを基本行動規範とします。

2 リハーサル、撮影、打ち合わせにおける感染予防

(A) 事前準備

リハーサル・撮影、打ち合わせ参加者、見学者は全て、適切な医療機関によるPCR検査、抗体検査、若しくは抗原検査をリハーサル開始前に完了するものとします。実施者はこれを記録し、コミッティが確認できるように提示します。この検査が完了していないものはリハーサル・対面での打ち合わせへの参加が認められません。

(A) リハーサル時、撮影時、対面打ち合わせ時の感染予防対策 チェックシート

リハーサル参加者は事前に下記のチェック項目を提出します。全ての項目で条件を満たしていないものはリハーサルに参加が出来ないこととします。

- 当日の体温が37.4° C以下である
- 過去72時間以内に、発熱等の症状が無い。
- 倦怠感、息苦しい症状が無い
- 咳、痰、その他不快感が無い、
- 味覚、嗅覚に違和感が無い
- 同居人家族、同じ場所で1時間以上過ごしたものに、感染症が疑われるものがない。（直近1か月以内で）
- 過去14日以内で、海外の渡航歴、クラスター被疑箇所への訪問記録は無い。

- その他、新型コロナウイルスの感染の可能性のある症状は無い。

(B) リハーサル時、撮影、対面打ち合わせ時の感染予防対策 参加者のプロ アクティブ予防

リハーサル参加者は下記の事項を遵守し、自発的な予防を心掛けます。

- マスク、フェースガードの可能な限りの着用
- 待機時のスペースを占有的に持ち、他参加者と如何なるものも共有しない。
- 飲料は各自で持参し、共有物を一切設置しない。
- 咳、痰、その他、不審な症状を発見した場合、自他共に報告し、リハーサル開場からでる。その場合、コミッティにも報告の義務がある。
- 会場での飲食は原則禁止
- 会場への入場時に、手指のアルコール消毒
- ダンスシューズ・小道具のアルコール消毒

3 本番当日の出演者、関係者の感染予防

(A) 事前準備

本番当日、劇場に関係者として来場する人、出演者、制作、スタッフ（以降、関係者）は全て、適切な医療機関によるPCR検査、抗体検査、若しくは抗原検査を本番3日前までに完了するものとする。実施者はこれを記録し、コミッティが確認できるように提示し、来場者の事前登録を行う。この検査が完了していないものは楽屋口からの入場、若しくは、楽屋側、舞台袖側（以降、楽屋側）への入場が認められない。これは、搬入、折込等の人員も含む。

又、事前登録の無いものは、マスコミ、親戚など理由に関わらず、一切、楽屋側への入場を許可しない。

(A) 本番当日の感染予防対策 チェックシート

リハーサル、撮影参加者は事前に下記のチェック項目を提出します。全ての項目で条件を満たしていないものは劇場に入れなないこととします。

- 当日の体温が37.4° C以下である

- 過去 72 時間以内に、発熱等の症状が無い。
- 倦怠感、息苦しい症状が無い
- 咳、痰、その他不快感が無い、
- 味覚、嗅覚に違和感が無い
- 同居人家族、同じ場所で 1 時間以上過ごしたものに、感染症が疑われるものがない。(直近 1 か月以内で)
- 過去 14 日以内で、海外の渡航歴、クラスター被疑箇所への訪問記録は無い。
- その他、新型コロナウイルスの感染の可能性がある症状は無い。

(B) 本番当日の感染予防対策 関係者のプロアクティブ予防

関係者は下記の事項を遵守し、自発的な予防を心掛ける

- マスク、フェースガードの可能な限りの着用
- 待機時のスペースを占有的に持ち、他参加者と如何なるものも共有しない。
- 飲料、飲食は各自で持参し、共有物を一切設置しない。
- 咳、痰、その他、不審な症状を発見した場合、自他共に報告し、リハーサル会場からでる。その場合、コミッティにも報告の義務がある。
- 楽屋訪問を受け付けない
- プレゼント等を受け付けない

4 本番当日の観客への感染予防

(A) 事前準備

本番当日、劇場に観客として来場する人は公演が円滑に進むために全本ガイドラインに沿って行動し、他の観客も快適に観劇できるように協力するように努力をお願いします。又、様々な事由で本公演がキャンセルされ場合には、チケット料金は可及的速やかに払い戻しを実施しますが、その他の間接費用、機会喪失費用などは公演主催者からは補填されないことを理解してください。

観客はチケットを購入した以降で、事前、若しくは当日会場で来場者シートへの情報を記入することにより、本ガイドラインに同意したことになります。又、観客は一切、楽屋側への入場を許可されなく、プレゼント等の受け渡しも認められないことを理解頂きます。

(B) 本番当日の感染予防対策 来場者カードお客様へのお願い

観客は事前に来場者カードに下記の情報を記入して提出して頂きます。

- フリガナ
- 名前
- 電話番号
- 観劇公演回
- 席番号

(C) 本番当日の感染予防対策 看護師の常駐・入場時検温

本番当日は看護師を常駐し、観客に下記の症状があると看護師が判断した場合には入場をお断りする場合があります。来場者には入場時にサーモグラフィーで検温をさせていただきます。結果によっては、非接触体温計で再度検温をお願いします。37.4° C を超える場合は看護師と相談の上入場をお断りする場合があります。又、会場内で繰り返し咳をしているお客様は看護師の判断でご退場をお願いする場合があります。

- 発熱
- 咳、
- 呼吸困難、
- 全身倦怠感、
- 咽頭痛、
- 鼻汁・鼻閉、
- 味覚・嗅覚障害、
- 目の痛みや結膜の充血、
- 頭痛、
- 関節・筋肉痛、
- 下痢、
- 嘔気・嘔吐

第3章 感染予防評価方針

1 基本方針

公演を実施するに際し、新型コロナウイルスの主な感染経路である接触感染(①)、飛沫感染(②)及びエアゾル感染(③)のそれぞれについて、

従事者、来場者及び公演関係者の動線や接触等を考慮したリスク評価を行います。

(A) 接触感染のリスク評価

来場者が共有する物品やドアノブなど手が触れる場所を特定し、これらへの接触の頻度を評価します。高頻度接触部位（テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、蛇口、手すり、エレベーターのボタン、券売機等）には特に評価項目を設けます。

(B) 飛沫感染のリスク評価

施設における換気の状態を考慮しつつ、公演の態様を踏まえ、人と人との距離や位置、方向、施設内で大声での対話等が頻発する場所等の状態を評価します。

(C) 集客施設としてのリスク評価

開催にあたっては、施設内での入退場が長時間滞留せず人と人との距離が一定程度確保できるかどうか等について、評価します。

第4章 施設内の各所における対応策

前項リスク評価を踏まえ、当該施設の管理について以下の措置を講ずるとともに、関係者や来場者への周知を図る。

(A) 施設内

- 少なくとも施設の開館の際には施設内のドアノブや手すり等不特定多数が触れやすい場所のアルコール消毒を行うとともに、施設内は 60 分に 1 度、換気を行います。

なお、消毒液は、当該場所に最適なものを用いる。

- 公演の前及び公演の休憩中に、会場内の換気及び消毒を実施します。
- 手洗い・手指の消毒を励行するとともに、施設各所に、手指消毒用の消毒液を極力設置します。

(B) 公演会場入口

- 会場の入口付近に手指消毒用の消毒液を設置します。
- 会場入口の行列は、最低 1m（できるだけ 2m を目安に）の間隔を空けた整列を促します。

(C) チケット窓口

- チケット問い合わせ窓口対応者はマスク・フェースガードを着用することにより来場者との間を遮蔽します。
- チケット問い合わせ窓口の行列では、最低 1m（できるだけ 2m を目安に）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないよう工夫します。

(D) 入場者管理

- 入場時のチケットもぎりの際は、フェースガード、マスクや手袋を着用し対応します。来場者が自分で半券を切って箱に入れ、公演主催者がそれを目視で確認します。その際に来場者カードの提出を義務化します。
- サーモグラフィーによる検温を行い、結果によっては、再度検温をさせて頂きます。
- 開場は開演の 60 分前になります。

(E) 座席管理

- 入場者は施設最大収容人数の 50%に満たないように制限します。
- 座席は全て指定席にします。
- 如何なる理由でも指定以外の着席を認めません。

- 幼児、未就学児の入場を認めません。
- 座席の最前列席は舞台前から十分な距離を取り、また、感染予防に対応した座席での対策を行います。又、最前列の観客にはフェースガードを無料配布致します。
- 公演中の来場者同士の接触は控えていただくよう周知します。

(E) ロビー、休憩スペース

- 1 時間に 1 度の換気に努めます。
- 館内での食事を禁止し、館内放送等により促します。又、ロビーエリアでの対面での会話を控える様にアナウンスします。
- 常時換気に努めます。
- テーブル、椅子等の物品の消毒を定期的に行います。
- 従事者が使用する際は、入退室の前後に、手洗いや手指消毒を励行します。
- 人と人との距離を最低 1 m（できるだけ 2mを目安に）確保します。

(F) 楽屋、控室

- ドア・窓の常時開放と難しい場合には 1 時間に 1 度の換気に努めます。
- 登録者以外の入室を禁じます。(出演者も登録された楽屋以外への入出を禁じます。)
- テーブル、椅子等の物品の消毒を定期的に行います。

(G) 物販等

- 本公演での物品販売は感染予防のため行いません。

(H) 清掃・消毒・ゴミの廃棄

- 清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクや手袋の着用を徹底します。
- 作業を終えた後は、手洗いを徹底します。

(I) 感染対策専門スタッフ

- 当日の感染対策対応状況をチェック・奨励する専門スタッフを配置します。
- 作業を終えた後は、手洗いを徹底します。

第5章 周知・広報

感染予防のため、以下について来場者に対して周知・広報します。

- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底
- 社会的距離の確保の徹底
- 来場時、退出時の誘導に従う。
- ゴミなどを含む個人所有物の管理の徹底
- 下記の症状に該当する場合、来場を控えること。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、発熱

具体的には来場者カードに「お客様へのお願い」のシートを作成し以下を記載する。

ご来場前のお願い

ご来場前に体調チェックをお願いいたします。

以下のお客様はご観劇をご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

- 37.5 度以上の発熱がある方
- 過去 2 週間以内に発熱や感冒症状で受診されたりや服薬をされた方
- 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・味覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐等による体調不良の方
- 新型コロナウイルス感染症陽性もしくはその可能性のある方との濃厚接触がある方
- 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方

ご観劇当日のお願い

① 入場時のお願い

- 劇場内、入場待ちの際はマスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。マスクもしくはフェイスシールドのご着用がないお客様につきましてはご入場をお断りする場合がございます
- 当日入口にてサーモグラフィによる検温を行います。結果によってはお客様にお声がけさせていただき、常駐の看護師立ち会いのもと再度検温をさせていただきます。37.5 度以上のお客様のご入場はお断り

いたします。あらかじめご了承のほどお願いいたします。

- 開場は開演の 60 分前となっております。混雑緩和のためお時間に余裕を持ってお越しください。
- チケット半券のもぎりは、お客様にお願いいたします。チケットはスタッフが目視で確認し、お客様自身で半券を切り取ってご入場ください。その際に来場者カード（お名前、緊急連絡先、座席番号）の提出をお願いいたします。
- 劇場各所にアルコール消毒液を設置しておりますのでご利用ください。

②劇場内でのお願い

- A.開場時の入口、お手洗い、物販での整列の際には、社会的距離（ソーシャルディスタンス）を確保の上、掲示やスタッフの指示に従いお並びいただけますようお願いいたします。
- B.劇場内では係員の指示に従いご入場ください。
感染予防策として、座席の間隔を空けての配席となっております。お持ちのチケットに記載されている座席以外への着席はご遠慮ください。ご家族同士やご友人同士でも指定以外への着席はご遠慮ください。お子様もおひとりでお座りいただきます。
- 劇場内での会話はなるべくお控えくださいますようお願いいたします。
- 終演後、混雑緩和のため、規制退場をお願いする場合がございます。当日のアナウンス及び係員に指示に従っていただきますよう、お願い申し上げます。

③その他のお願い

- 当日の物販はございません。ご理解を頂きますようお願い申し上げます。
- 出演者、関係者等へのプレゼント、スタンド花、アレンジメント花、花束、お手紙、チケット代のお預かりはお断りいたします。
- ゴミ等を含む全ての所有物はお持ち帰り頂く事にご協力ください。
- 開演前、終演後の再入場はご遠慮ください。
- 場内のスタッフは、フェイスシールド及びマスク、手袋などを着用して対応させていただきます。
- 開場時には入口扉、客席扉を開け換気をいたします。

第6章 緊急時の対応保健所との関係

1 専門家との協議

(A) 看護師

- 新型コロナウイルスに感染した人を判明した場合、迅速に看護師に相談する。
- 如何なる場合においても、運用実施者による、緊急ミーティングを開催します。

(B) 保健所

迅速に保健所に連絡を入れ、必要な連携をとり、来場者の混乱を防ぐ。

その際には、公演の遂行よりも、来場者の安全と感染拡大防止を最大の目的とする。

2 事後の対応

保健所からの要請があれば専門家との協議のもと、来場者カード、関係者名簿、感染予防実施記録、評価記録を迅速に保健所へ提出します。

以上。